

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）

【目的・趣旨】

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

大規模災害¹⁾時には、公益社団法人日本歯科医師会（以下、「日本歯科医師会」という。）が基幹事務局となり組織する災害歯科保健医療連絡協議会²⁾（以下、「連絡協議会」という。）として、被災地域の都道府県の派遣要請を踏まえた厚生労働省からの要請に基づき JDAT を派遣し、被災地域に人的支援や物資の支援等を行う。

また、大規模災害発生後の迅速な初期対応や、中長期にわたる避難生活者への支援、地域歯科医療の復旧等に向けた支援等を円滑に行うため、被災地の行政はもとより、厚生労働省、自衛隊等の災害時対応に係る各機関や、災害派遣医療チーム（DMAT）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、日本医師会災害医療チーム（JMAT）等の医療関係団体から派遣される医療チームとの有機的な連携の下、連絡協議会が連携し、状況変化に応じて柔軟に対応することが求められる。

さらに、被災した都道府県歯科医師会だけでなく、日本歯科医師会及び、近隣する都道府県歯科医師会及び連絡協議会が中心となって対応していくことが必要となる。

なお、JDAT は連絡協議会が出動要請した歯科支援チームであり、被災自治体の地域防災計画にある被災都道府県の歯科支援チーム及び JMAT に帯同する歯科医師は「JDAT」には含めない。一方で、JMAT ほか、医科大学病院チーム、災害拠点病院チーム、学会派遣などに、歯科医師や歯科衛生士などの歯科医療職が帯同している場合には、必要に応じて連絡をとり、情報を集約してマネジメントする。

また、歯科所見による身元確認を行うものではない。

JDAT は支援チームとして構築するが、災害発生後に整備するのではなく、平時に研修を行い、その体制を整備する。それとともに、それぞれの地域における災害対策に参画し、積極的に防災訓練などに参加する。災害発生時には、それぞれの地域における被災状況を収集し、その情報を都道府県歯科医師会などの災害歯科対策本部、または日本歯科医師会及び連絡協議会の災害対策本部

へと繋ぎ、かつ必要時は他都道府県からの支援チームの派遣要請を提言する。他都道府県から JDAT が派遣されてきたときには、被災地域の JDAT が現地支援活動コーディネーターとして受援する役割を担う。

このように JDAT には、災害時のみならず、平常時からの地域災害対策に携わり、災害時には、地域歯科保健体制の BCP（事業継続計画）をマネジメントする役割が求められている。

災害歯科保健医療連絡協議会（2021年11月）